

## 能登 いまい農場だより 新年号

**明けましておめでとうございます。本年もよろしく願い申し上げます。**

お買い上げ頂き、ありがとうございます。

能登は雪のない正月を迎えました。雪がない冬は、外出もしやすく、楽なのですが、これから益々、寒さが厳しくなる時期、いずれ雪は降るだろうと覚悟はしています。

皆様、いかがお過ごしですか。体調管理に気を付け、寒さ厳しい冬を乗り切りたいものです。

### ■看板を設置

昨年末、作業場の外壁に看板を設置しました。今まで看板がなかったため、直接、用のある方や、配送会社等に迷惑を懸けていたと思います。

家にあった厚めのケヤキ板を利用して、知り合いの工務店に依頼しました。近くで見ると、ケヤキの木目が見えていい感じになりました。

ただ、文字の書体を看板にまで統一したため、ちょっと細く、遠くからは見にくいかなと思ったりしています。



### ■米作り農家にとってのXデーがまた近づく

平成30年から、半世紀にわたり長く続いた減反政策(米の生産調整)が変わろうとしています。今までは、JAと市町村が一体となった組織が、農家個別に割り当てた生産目標(面積)を半強制的に押しつける形で、減反政策が進められてきました。それが撤廃され、農家、農協の自主性にゆだねられます。

#### (夢のひとこま)

減反が廃止され、農家みんなが作り、過剰な米が市場にあふれたら?…消費者にとっては一時的にはいいかも…数年続くとすれば、価格が暴落し、米づくり専業農家が真っ先に倒産、

いままでも、地方の疲弊があったものが、一気に地方が崩壊、あちこちが<sup>よしはら</sup>葎原に……。

農家の保障制度を考案中ということなのですが、まだ全体像が明らかになっていません。

こんなことにならないように、一生懸命努力し、美味しく、安心・安全なものを皆様にお届けしたいと思っています。

30年以降をにらんで、すでに産地間競争が始まっています。その第一が品種。ポストコシヒカリではありませんが、民間や、地方の農業試験場の開発した新品種が続々と出てきています。暑さに強い品種、多収で美味しい品種、病気に強い品種、大粒な品種等々です。私の地元石川県でも、石川65号(農試開発番号)が名前を公募し、今春に決定するとか。

新品種の動向を見極めながら、コシヒカリと+αで作付けしたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。